

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月 9日 更新

事務事業名		合志市地域公共交通協議会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	5 都市基盤の健康				所属部	市長公室	課長名	佐藤 美和
	施策	25 公共交通の充実				所属課	企画課	担当者名	佐藤 浩明
	施策の柱	68 公共交通の利便性の向上				所属班	企画広報班	(内線)	1254
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11463	根拠法令	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 道路運送法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 20 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成20年度に設置した合志市地域公共交通協議会(以下、協議会)を管理・運営する事業である。地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく協議会、道路運送法に基づく地域公共交通協議会および地域公共交通確保維持改善事業計画の実施に関する協議・調整役としての3つの目的を担っている。協議会の委員構成は、法律で定められており、市民代表、公共交通事業者、運輸支局、学識経験者等で運営している。
【業務の流れ】	協議会事務局としての機能を有し、協議会の開催や関係機関との調整を行なう。
【主な予算費目】	報酬、旅費(費用弁償)
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	本年度、委員の改選を行い、協議会を2回、作業部会を1回開催し、再編後のコミュニティバスの運行評価及び利用促進施策などの協議を行った。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		協議会を4回予定している。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ イ: 協議会開催回数		地域公共交通計画策定に伴う委員報酬の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合志市地域公共交通協議会	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 件
		→ イ: 組織数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	円滑に運営できる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) %
		→ イ: 円滑に開催できなかった会議の割合
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
協議会の円滑な運営を目的としているため、円滑な協議会開催ができなかった割合とした。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込	
① 活動指標	回	回	3	1	3	2	4	3	3	0	
② 対象指標	件	件	1	1	1	1	1	1	0	0	
③ 成果指標	%	%	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	120	166	531	239	708	531	531	531
	(A) 事業費計	千円	120	166	531	239	708	531	531	531	
		(A)のうち指定経費	千円	63	92	311	133	415	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	4	1	4	1	1	1	0
	延べ業務時間	時間	442	492	500	490	0	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	1,742	1,923	1,992	1,864	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,862	2,089	2,523	2,103	708	531	531	531	

事務事業名	合志市地域公共交通協議会運営事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	------------------	-----	------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 必要最低限の会議が開催できた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 令和5年度は協議会3回、作業部会3回を実施予定。円滑に協議会を開催することに努める。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 協議会の開催や運営を円滑に行うための事業であるので、向上余地はない。なお、少人数での作業部会を開催し、さらに充実した議論や検討を行うことができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 協議会委員の報酬と費用弁償のみであり、切手代についてもメール送信可能な委員には郵送は行っていない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 協議会の開催に係る必要最小限度の人員 (時間) である。また、法定協議会の運営であるため外部委託はできない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 地域公共交通活性化再生法および道路交通法に基づく法定協議会として、市全体の公共交通のあり方について検討や協議を行うため設置した組織であり、公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 地域公共交通活性化再生法および道路交通法に基づく法定協議会であり、他団体では担えない。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

会議の開催に向けた一連の手続きについては、円滑に行なうことができたと考えている。また、開催通知や資料の送付方法をメール送信したことにより、経費の節減も図ることができた。  
今後も利用者代表による作業部会の活用により、議論を活発化させる。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						